

経営体の概要

- ・所在地：北海道磯谷郡蘭越町
- ・経営体名：H農場
- ・栽培作物・作付面積：水稻52ha、小麦6.1ha、大豆3.5ha、
飼料作物4.2ha、ミニトマト4棟
- ・従業員数：6名（専従4名、通年雇用2名）
（令和6年4月現在）

導入技術

- ・GNSSガイダンス（X25）＋自動操舵（AES35）（（株）トプコン）
- ・GNSSガイダンス（X14）＋自動操舵（AES35）（（株）トプコン）
- ・GNSSガイダンス（X30）（（株）トプコン）
- ・ワイドスプレッダー（ROM-EW）（（株）ピコジャパン）
タスクデータを利用した可変施肥の導入
- ・農業用ドローン（MG-1 SA）（DJI JAPAN（株））
ドローンと既存自走式防除機による効率防除の実施
- ・Z－G I S（J A全農）
G P S ポリゴンデータの編集・作成
- ・農業用環境モニタリングシステム（スマートロジック（株））
ミニトマト栽培での活用

GNSSガイダンス及び自動操舵による田植え
未経験者によるオペレーターが可能にドローンによる省力化と効率防除
従業員の労働環境改善を実現

導入経緯

- H農場では、経営規模の拡大に伴い、農作業の省力化と効率化、農作物品質の高位平準化、従業員の労働環境改善が課題であった。
- 地域で開催されたスマート農業に係る講習会への参加をきっかけに、平成29年からGNSSガイダンスや自動操舵システムなどを導入し、着実に省力化・効率化を進めている。

取組の特徴・効果

- 平成29年、30年にGNSSガイダンス＋自動操舵システムを導入。
- 平成30年にZ－G I Sアプリを導入。
- 令和元年に農業用ドローンを導入し、従業員を含めたオペレーターが技能認定を取得。令和2年にはドローンと既存自走式防除機との連携による効率防除を実施。
- 令和2年にGNSSガイダンスを導入し、ワイドスプレッダーを連携させた精密施肥を実施。また、農業用環境モニタリングシステムを導入し、ミニトマトの栽培に活用。
- 以上により、①未経験者による田植えのオペレーター、②従業員同士での作付や施肥などの作業計画の共有、③ドローン及び防除機の長所を活かした連携による防除作業の効率化と防除効果の向上、④天候急変等によるミニトマト施設の開閉ミスがなくなるなどの効果があった。
- また、人力（背負い）による防除作業を廃止し、ドローンに置き換えることにより、従業員の作業を軽減し、労働環境改善を図ることができた。
- 今後は、作業の見える化・自動化により従業員の更なる労働環境の改善や、タスクデータを利用した可変施肥導入を確立し、農作物品質の高位平準化を図ることとしている。

